

## IV 事業概要

### 4 連携事業

#### ② きのこと展

(ア) 期 間 平成29年9月23日(土)～9月24日(日)

(イ) 会 場 仙台市科学館3Fエントランスホール

(ウ) 目 的

宮城県内に生育するキノコの実物を鑑賞する場を市民に提供し、キノコの分類に関する知識を広めることを目的とする。

(エ) 展示内容

仙台周辺の自生のキノコ類を対象として採集した自生キノコを、科や属ごとに分類、整理して展示した。展示に関しては、キノコの鮮度を保つように常に展示の入れ替えを行った。種名・属名・科名の名札を作成し、説明を行う解説員をおいた。

会場の運営にあたっては、「仙台キノコ同好会」の会員が常駐し、展示の説明・会場整理、キノコの鑑定にあたった。

市民の関心の高いキノコの放射線値について、東北大学と協力して調査している情報を開示した。東北大学木野康志氏による放射線値に関する講演会を行った。

- ・キノコ生体の展示
- ・栽培キノコの展示
- ・キノコの鑑定会
- ・キノコのVTR放映
- ・キノコ写真の展示
- ・キッズコーナー



会場の様子

(オ) 実 績

夏の低温などの影響により、キノコの発生状況は良くなかったが、会員の方の精力的な採集により採集キノコ244種、栽培キノコ12種、計256種の展示となった。市民の鑑定、相談件数は38件と昨年の83件を下回ったが、これはキノコの発生状況が良くなかったことに起因すると思われる。最近の傾向として、子ども、若い家族、キノコ女子の来場者が目立つが、今年もその傾向が強まり、メモをとったり、カメラで撮影したりと、いつもより熱心な来場者が多かった。入場者数は2日間で1,834名であった。木野准教授による講演会にも、時間を大幅に超える活発な質問が出され、キノコと放射能に関する情報提供が効果的に行われた。



講演会の様子